

令和5年度 施政方針

第2回市議会定例会が2月20日から3月17日まで開かれ、馬場市長が第3次総合計画の初年度となる令和5年度の施政方針を述べました。今号では、総合計画の40の政策別に概要をお知らせします。

天草市の将来像
ともにつながり
幸せ実感
宝の島“天草”

将来像を実現するための
5つの理念

7年後の理想の姿
19のありたい姿

ありたい姿を
達成するための
40の政策

本市では、今年度から「ともにつながり 幸せ実感 宝の島『天草』」を将来像とし、さらに、この将来像を実現するための5つの理念を掲げた「第3次天草市総合計画」のもとでさまざまな事業に取り組んでいくこととしています。

いよいよ7月に天草市陸上競技場がオープンします。市民の皆さまの健康づくりや子どもたちの体力増進、競技力の向上、大会や合宿の積極的な誘致によるスポーツを通じた交流人口の増加や地域の活性化に向け、本施設を有効に活用していきます。

また、令和6年3月には、合併前から取り組んできた「御所浦恐竜の島博物館」が開館します。恐竜の化石や生態系の多様性など、豊富な素材を教育活動に活用する取り組みを進めていくほか、地域の活性化グループによる来島者へのおもてなしの準備も着々と進められています。さらに、デジタル人材の育成とともに進めてきた企業誘

致については、進出協定を締結した企業が令和3年度から数えて12社となりました。特に、ソフトウェアの開発やシステム設計、Web制作、ゲームソフト開発など、IT・デジタル技術を活用した企業の進出が勢いを増しています。若者が「働きたいと思える場所」を増やすことで、定住促進や地域経済の循環につながります。創造性豊かなまちづくりのため、引き続き取り組みを進めていきます。

私の施政テーマは、「つながるチカラでまちづくり」です。本市には人情豊かな人々と、美しい自然、豊かな食、歴史や文化など、多くの「地域資源」がありますが、一番の宝は私たち「ひと」です。市民と行政それぞれが、自分のこと、みんなのこととしてまちづくりに対する想いを共有するとともに、多様な価値観を認め合いながら、誰もが天草に誇りを持ち、心豊かにいつまでも住み続けたいと思える天草市を目指してまいります。

市政だより

あまくさ 5 2023 月号

主な内容

- 2 令和5年度施政方針
- 9 学芸員のイチオシ／天草の匂いただきます!
- 10 令和5年度予算
- 12 令和5年度職員体制
- 14 いきいき健康
- 16 暮らしの情報
- 34 元気☆あまくさっこ／〇〇な人み〜つけた!
- 35 ハッピーバースデー
- 36 宝島のわだい
- 38 キラリ天草人
- 39 市民のひろば
- 42 休日在宅病(医)院
水道修繕当番店／献血日程
- 43 お出かけ情報／市長コラム
- 44 令和6年度採用市職員募集

天草市公式SNS



人のうごき 3月末日現在

3月中の異動		※()内は前月比	
人口	74,089人 (707減)	出生	31人
男	34,956人 (378減)	死亡	137人
女	39,133人 (329減)	転入	283人
世帯数	36,088 (135減)	転出	884人

問い合わせ先

本 庁	天草市役所 ☎23-1111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深☎73-2111・有 明☎53-1111 御所浦☎67-2111・倉 岳☎64-3111 栖 本☎66-3111・新 和☎46-2111 五 和☎32-1111・天 草☎42-1111 河 浦☎76-1111

理念

ともに学び ともに育つ まち



市民が活躍する 地域づくりの推進

地域の特色を生かした活発なコミュニティ活動や、地域主体の先進的な活動を支援します。また、地域を担う人材を育成するための講演会や研修会の開催、先進事例の情報提供を行い、地域づくり活動への意識啓発を図ります。

様々な分野における 市民活動の推進

NPO等の市民活動団体の運営基盤強化を図るため、組織運営・法人化等の相談体制の充実や人材育成セミナーの開催などにより支援します。また、多様な人的ネットワークの拡大を図る

とともに、新たな人材発掘や学びの場の提供を進めます。

誰もが個性と能力を発揮できる 男女共同参画社会の推進

政治や行政、経済等あらゆる分野での方針決定の場に多くの女性が参画できるよう、人材育成や女性の活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの理解促進などに向けた啓発を引き続き行います。

互いを尊重し合う 人権教育・啓発の推進

天草市人権教育・啓発基本計画に基づき、関係団体や保育園、幼稚園、小・中学校および行政等が互いに連携・協力し、地域社会、学校、家庭など、あらゆる場や機会を通じて、人権教育・啓発に取り組めます。

ともに認め合う 多文化共生社会の実現

外国人居住者が暮らしやすい環境を整えるため、市内各地で外国人相談窓口や日本語教室を開催します。また、国際化に対応した人材を育成するため、海外姉妹都市や海外連携大学との交流事業を推進します。

理念

つながり 稼げるまち



活力ある持続可能な 地域農業の振興

新規就農サポートセンターを核として、就農相談から営農定着まで、関連機関が連携したサポート体制を維持し、親元就農者に対する支援の拡充や産地の維持に努めます。また、環境保全型農業を推進するとともに、有機農業に取り組み農家組織の設立に向けた支援を行い、生産から販売、活用と地産地消を推進します。

さらに、中山間地域の農地基盤整備事業により、担い手農家や新規農業参入企業などへ優良農地の供給を図ります。

天草型スマート農業については、機械の共同化、作業受委託の推進、作業の省力化をキーワードに、積極的に推進します。また、樹園地の集積や基盤整備の推進、天草産農畜産物の特産品づくりやブランド化を行い、稼げる産

子どもたちの学びの充実

中学生の実用英語技能検定の受験料を市が全額負担し積極的な受験を促すなどして、グローバル人材の育成に取り組めます。また、ICT支援員の増設のバリアフリー化など、教育環境を充実させます。

地域と連携・協働し、豊かな地域資源を活用した体験活動をはじめとする特色ある学校づくりを進めます。

いじめや不登校の問題については、相談体制の充実や居場所づくりに取り組めます。

また、園児・児童・生徒数の減少に対する公立幼稚園、小・中学校の在り方について調査・研究を進めます。



学びの発見と 人材を育成する大学との連携

大学が持つ知的・人的財産、ネットワークを活用したセミナーや講座を開催し、まちづくりの魅力向上、人材育成につなげます。また、若者世代の人口流出抑制や専門的知識の集結、地域の活性化等、本市の新たな価値創造のため、大学などの設置や誘致に向けた取り組みを進めます。

生涯にわたる学びの推進

幅広い年齢層に向けた講座の開催や読書活動の推進など、学習に参加しやすい環境づくりに努めます。また、さまざまな知恵や技術を持つ人材の発掘のほか、自然体験や歴史・文化を伝承する機会を充実させ、地域の未来を担う子どもたちの育成に取り組めます。

芸術文化の振興と 歴史文化の保存・継承

地域の伝統芸能や文化団体が行う芸術文化活動の支援のほか、文化施設や各資料館の計画的な施設改修を進め、魅力と利便性の向上を図ります。

国指定史跡棚底城跡の整備や、国指定建造物である祇園橋の保存修理を進めるとともに、その他の指定文化財などの保存・活用事業に取り組めます。

世界遺産と

キリシタン史の保存・活用

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産登録5周年を迎えることから、関係自治体と連携した事業のほか、記念事業などを実施し、「崎津・今富の文化的景観」の重要性や資産価値を市民と共有するとともに、さらなる魅力向上に努めます。

経済の好循環を生み出す 地産地消・地産他消の推進

「天草宝島商品券」を市民が日常的に使うことができる「電子地域通貨」とするため、チャージ機能やカード型地域通貨機能を追加し、市内経済の好循環を図ります。

天草産品の情報発信を積極的に行い、販路拡大による市内生産者や事業者の支援に取り組めます。また、「天草大陶磁器展」を始めとする陶磁器の産地化や島外への出展、技術継承や後継者育成の取り組みを支援します。

魅力ある観光の創造

全国的に観光需要が回復傾向にある中で、本市の地域資源にさらに磨きをかけ、世界の「AMAKUSA」を目指して、関係自治体などと連携した効果的な情報発信に取り組めます。また、3年後に控える国立公園指定70周年に向けて、自然資源を活用したキャンプやサイクリングなどの体験型観光の誘客に取り組む、天草の価値を高めるブランドイングに力を入れていきます。さらに、「おもてなしの宿魅力向上支援事業補助金」を創設し、宿泊施設の魅力向上に向けた取り組みを支援します。

健全な森林保全による 林業の活性化

林業の6次産業化をさらに推進するため、関係者等への聞き取りや木材の製材・加工、流通、販売の実態を詳細に調査し、事業者間の連携体制の構築や天草産材を使った新たな市場開拓などに取り組めます。

また、森林環境譲与税を活用した森林整備事業により、担い手育成や人材確保、天草産材の利用促進を図ります。

資源を生かした 持続的な水産業の振興

担い手の育成と人材確保に向けた親元新規就業者に対する支援の拡充のほか、地域おこし協力隊を活用した水産物の掘り起こしや、地域資源の価値、魅力を生かした海業の推進など、浜の活性化に取り組めます。また、新たな藻場の保全・再生活動に取り組むことで、ブルーカーボンの活用と生態系の保全を目指します。

商工業の振興と 多様な働く場の創造

ゲームや映像などのコンテンツ産業の創出のため、CG制作会社の誘致や設立を支援します。また、令和6年度から、天草工業高等学校でCGを学ぶことができる環境を整備し、企業誘致と定住促進に取り組めます。

さらに、外部アドバイザーや地域おこし協力隊を効果的に活用した起業創業への支援や、地元企業の事業承継などへの支援を進めます。

若者の就職の選択肢を増やし、UIJターンの受け皿となるよう、製造業やIT企業などの誘致に積極的に取り組めます。また、地元企業のDX推進や地域経済の活性化を図ります。



さらに、漁業者を主体とした赤潮モニタリング体制を新たに整備するとともに、輸出拡大に向け、加工方法や出荷形態などの調査・研究を進めます。

やさしさ

安心のまち



健康寿命の延伸

疾病の早期発見・治療につなげるため、健診の必要性の周知と受診率の向上に努めます。また、健康ポイント事業の推進や健康教室を実施し、健康づくりに関する情報発信を行います。

若い世代から取り組む保健事業に加え、後期高齢者医療制度における疾患の重症化予防やフレイル予防を実践する保健事業に取り組みます。

また、天草モデルとして高齢者の保健事業と介護予防などの一体的な実施事業に引き続き取り組み、受診率向上と健康寿命の延伸につなげます。

安心して医療・介護が受けられる体制の強化

各市立病院が連携し、持続可能な医

性向上のため、施設の補修に取り組んでいきます。

良好なまちなみの形成

本渡港に新しい学びや出会い、体験やモノに触れることができる拠点、新たな価値を生み出す施設”を民間事業者と連携して推進するため、官民で組織するプラットフォームを設立し、連携に向けた事業の課題や方向性などを協議するとともに、港に求められる機能などを把握するための実証実験を行います。また、地域住民の景観形成への意識高揚や公園施設の長寿命化、快適で住みやすい公園環境の維持保全に取り組みます。



療提供体制を確保するとともに、修学資金貸与制度により、市内で活躍する医療専門職の支援および確保に向けた取り組みを継続します。

本渡看護専門学校では、市内医療機関への就職率の向上や看護師国家試験の全員合格に向けた取り組みを強化し、併せてアートと福祉を掛け合わせた新たな分野の学びにより、誰もがいつまでも生き生きと暮らすための支援ができる看護師の育成を目指します。

ともに支え合う地域福祉の充実

重層的な支援体制による柔軟かつ継続的な取り組みにより、複雑化・複合化した生活課題に対する相談支援体制を強化します。また、生活保護に至る前の自立支援策の強化として、住居確保給付金の支給や就労支援などに取り組み、誰一人取り残さないまちの実現を目指します。

高齢者の生きがいづくりの推進

身近な地域での介護予防活動を推進し、高齢者が地域の担い手として活躍できる環境を整備します。また、認知症や支援が必要な状態になっても安心して暮らせる地域づくりを進めます。

住みやすい住環境の整備

市営住宅の長寿命化や安全性の確保、居住性向上のための改修を行い、老朽化が著しい住宅は入居者の退去に合わせて、用途廃止し、解体や譲渡を行います。また、誰もが安心して住むことができるセーフティネット機能を高める整備を進めます。さらに、実態調査で把握した危険家屋の除却を促進し、利活用可能な家屋は、空き家等情報バンク制度と連携した取り組みを進めます。

安心で持続可能な上下水道の整備

300を超える浄水場や配水池などの施設の合理化に向けた計画に取り組みます。また、上水道による給水が困難な地域は、小規模水道施設の整備補助金を継続し、暮らしに必要な水を確保します。下水道整備区域外は、浄化槽の設置を支援し、生活環境の保全を図ります。

情報通信環境の格差解消と情報化の推進

情報通信環境の格差を解消するため、光ファイバーによるインターネット環境の整備を進めるとともに、整備

障がい者・障がい児の自立と社会参画の推進

総合相談窓口および相談支援事業者等に対する専門的な指導、助言、情報収集・提供などを実施するため、市内4カ所の地域障がい相談支援センターを中心に、相談支援体制を強化します。

スポーツ・運動の推進と交流機会の創出

市スポーツコミッションを中心に、市民の健康増進や競技力の向上を図る事業の実施、スポーツ大会・合宿などを積極的に誘致し、スポーツを通じた交流促進に取り組みます。また、社会体育クラブの指導者育成などの支援のほか、全ての市民がライフスタイルに応じてスポーツや運動に親しむことができる環境の充実を図ります。さらに、多様化するスポーツニーズに対応し、スポーツ交流を通じた地域づくりを行うため、本渡運動公園や広瀬公園など施設の整備を進めます。

妊娠から子育てまで切れ目のない支援

里帰り出産した人に向けた天草島外での産後ケアの体制整備や、低所得世帯への支援に取り組みます。また、子

公共交通による移動利便性の確保

日常生活に必要な移動サービスを確保し、住み慣れた地域で安心して暮らすための公共交通の充実を図っていきます。また、通学や通勤、観光など、広域的な移動を担う公共交通の維持確保を図り、持続可能な公共交通ネットワークを構築します。

天草エアラインについては、地域おこし協力隊を活用して、魅力あるコンテンツを発掘するとともに、都市部と天草地域の航空路線の利用拡大を図ります。また、牛深蔵之元航路の国庫補助航路認定に向けた検討を進めていきます。

災害に強いまちの形成

防災マップを活用した訓練を実施します。また、自主防災組織活性化のための経費や防災士資格取得に係る経費を支援します。さらに、地域と連携して効率的かつ

ども食堂を行う団体の自立と、継続的・安定的な運営を図るため、子ども食堂ネットワークの活動を支援します。



生活基盤を支える機能的な道路・河川・港湾の整備

歩道の新設や道路拡幅工事等の実施、カーブミラーなどの整備により、市道の機能向上や利便性・安全性を確保します。また、熊本天草幹線道路の早期全線開通に向けて、関係機関に対し積極的な要望活動を行います。さらに、豪雨時における河川の氾濫防止対策のため、市が管理する河川の堆積土砂などを撤去します。港湾施設については、安全性・利便

消防・救助・救急体制の充実

消防団員の処遇改善と入団促進を行うとともに、消防設備、資機材の更新・改修など、計画的な整備を行います。

防犯・交通安全・消費者保護対策の推進

安心・安全メール等を活用した速やかな情報発信、地域での見守り体制の充実など、市民の防犯意識の向上と犯罪の未然防止に努めます。また、参加型体験型の交通安全教育や反射材用品等の普及啓発などにより、交通事故防止に努めるとともに、通学路の防犯灯や交通安全施設を整備します。消費者被害の未然防止と救済に向け、啓発活動などに取り組みとともに、消費生活相談体制の強化や、見守り支援体制を充実させます。

魅力ある天草への移住・定住促進

都市部などから親子で試行的に移住を体験する「保育園留学」を実施し、年間100組を受け入れ、関係人口の創出に取り組みます。



本市には、天草のキリシタンに関する資料館が4施設あり、施設ごとにテーマを設定して、天草のキリシタン史を分かりやすく紹介しています。天草キリシタン館は「島原・天草一揆を中心とした天草キリシタン史」、天草ロザリオ館は「大江の潜伏キリシタンとその信仰物」、天草コレジヨ館は「天草に伝わったキリスト教と南蛮文化」、崎津資料館みなと屋は「世界文化遺産・天草の崎津集落の歴史の価値と、潜伏キリシタンに関する

信仰物」をテーマに、数多くの貴重な資料を展示しています。

現在、天草キリシタン館では、国指定重要文化財「天草四郎陣中旗（通称）」の実物展示を、天草コレジヨ館では、世界文化遺産登録5周年記念・企画展「新収蔵品展」をそれぞれ開催中です（29・32ページ参照）。4施設をお得に巡ることができる周遊観覧券も販売していますので、この機会に、天草のキリシタン史に触れてみませんか。

天草市には、考古学や古生物学などの専門的知識を持つ学芸員がいます。その学芸員が、天草の歴史や文化などに関するイチオシを紹介いたします。

学芸員のイチオシ

文化課 稲津貴久



理念

自然と共生するまち

脱炭素社会の実現と自然環境の保全・共生

自然との共生を図りながら、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入を促進します。また、市民が自主的に行う環境美化活動を推進し、官民が一体となった自然環境の保全に取り組みます。

さらに、通詞島沖に生息するイルカの実態調査を継続し、天草の美しく豊かな環境のシンボルとして、教育から環境保全、そして観光へとつなげます。

快適な生活環境の充実

不法投棄の防止や河川・海岸へのごみの流出を防止するため、環境学習などを通じた啓発活動に加え、家庭ごみや事業ごみの減量化・資源化に取り組みます。また、循環型社会の実現や美しい天草の環境を維持するため、官民

一体となってプラスチック製品の使用とプラスチックごみの発生抑制に取り組めます。特に、生ごみ処理容器購入補助制度の拡充や環境配慮型事業所認定事業の構築に取り組むほか、新ごみ処理施設の建設に合わせ、ごみ中継施設の整備を進めます。

自然資源を活用した地域の魅力向上

地学・古生物学の学術拠点として整備を進めてきた「御所浦恐竜の島博物館」が、令和6年3月に開館します。多くの人が御所浦地域を訪れ、豊かな自然資源などを堪能してもらえるよう、官民一体となって受け入れ態勢を構築し、持続可能な仕組みづくりに取り組めます。また、天草諸島の地形の成り立ちや恐竜の化石、生態系の多様性など、学びの場としての豊富な素材を活用し、学校や地域での出前授業や出前講座による教育普及活動の充実を図ります。



理念

挑み続ける行政経営に取組むまち

効率的かつ効果的な行政運営

広報紙やホームページ、SNSなどを活用して、市政情報や魅力ある情報の発信に取り組めます。また、ポータルサイト「まちづくりバンク」の周知徹底を図り、市民と行政の共創によるまちづくりを進めます。

デジタル技術を活用した業務改善の推進や行政手続のオンライン化など、効率的かつ効果的な行政サービスを向上させ、自治体DXを推進します。

市政を担う

組織力・職員力の強化

複雑化・多様化する行政課題に的確に対応できる組織体制の構築と、人材の育成に取り組めます。また、全ての職員が安心して働き、多様な能力を最大限発揮できるよう、キャリア意識の醸成や働きやすい職場環境の整備に取り組めます。

安定した財政運営の推進

事業のビルドアンドスクラップにより、限られた財源を効率的・効果的に活用するとともに、持続可能な財政運営を進めます。また、ふるさと応援寄附金については、魅力ある返礼品を創出し、寄附者へのアフターフォローを継続して行うとともに、企業版ふるさと納税については、企業への積極的なアプローチにより、自主財源の確保に努めます。



市有財産の経営的な

視点による管理運営の推進

公共施設の適正配置の着実な実行と施設の長寿命化を進め、民間活力の活用が可能な施設は、譲渡や貸し付けなどによる効率的かつ効果的な利活用を図ります。

旬の食材いただきます!



アスパラガス



春から初夏に旬を迎えるアスパラガスは、アスパラギン酸というアミノ酸の一種が多く含まれていて、疲労回復効果が期待できます。

濃い緑色で全体に光沢があり、穂先が締まっていて、根元部分の断面がみずみずしいものが新鮮です。

アスパラガスと新玉ねぎのサラダ



材料 (4人分)

- | | |
|--------------|-----------------|
| ・アスパラガス… 80g | ・酢 … 大さじ1 |
| ・新玉ねぎ … 120g | ・オリーブオイル … 大さじ1 |
| ・ツナ缶 … 72g | ・塩コショウ … 少々 |
| | ・白いりごま … 少々 |

作り方

- ①新玉ねぎを薄切りにして水にさらし、絞って水気を切る。
- ②アスパラガスの根元の皮をむき、斜め切りにして硬めにゆでる。
- ③新玉ねぎ、ツナ缶、アスパラガスをAと和える。